

を取り戻し、会員が心を一つにして、障害のある人が安心して暮らせる社会にしていきたいと考えています。

障害者が安心して暮らすことのできる町づくり、すなわち地域の輪に適切な地域のみなさまの一人となりご理解をいただけるのが一番ではないかと思えます。それぞれの施設は、その点では、地域とのふれあいを大切にと歴代の園長・職員の皆さんが心がけて来られたと聞いており、本当にありがたいと感じています。

最後になりましたが、育成会が、施設がこれからも利用者、会員、職員のみなさまの輝ける場、そして地域のみなさまに愛される場であることを切望し、新たな飛躍の年を迎えるあいさついたします。

第十一回アミテイ舞洲 運動会開催!

大阪市育成会地域活動・就労支援事業所協議会(旧小規模作業所・小規模通所授産施設連絡協議会)では、毎年、アミテイ舞洲をお借りして運動会を開催しています。事業所間の交流を深め、皆さん楽しいひと時を過ごします。

今年も十一月十四日(金)に第十一回大会が開かれました。

アミテイ舞洲運動会に

参加して

地域活動支援センター

福祉若葉作業所

小林 由里香

秋晴れの中、第十一回アミテイ舞洲運動会が開催されました。

当施設のメンバーも、この日を心待ちにしていた。そのため、一つの動機づけとして、十月末に作業所旗を作り、よく見える壁に飾りました。

それから毎日、旗を見ては、「がんばろうな!」と、運動会の話題が出て、気持ちも最高潮に盛り上がってきました。

準備が進められる中、私の担当が『きりんさん体操』になったことをメンバーに話しました。すると、「私もゆりちゃんと一緒にきりんさんするわ☆」と、本人きりんさんに手を挙げてくれたメンバーがいました。他のメンバーも「ほな盛り上げないかな」と言ってくれたのが、とても嬉しかったです。

運動会当日、わかばメンバーの表情も、やる気に満ちていました。他の作業所のみなさんの表情も、とっ

ても晴れやかで、こちら側も楽しくなってくるほどでした。

運動会全体を通して、普段なかなか表情の変化が表れにくいメンバーも、笑ったり、穏やかな表情になったりと、多くの感情を表出してくれました。それは参加している選手みなさんにとって、楽しい行事だったことを表していると思います。

私自身としましては、今回が初めての参加でしたが、実行委員会や企画委員会に参加し、全体の把握に努めました。準備段階から当日まで、事務局のみなさまを始め、他の作業所の職員のみなさまに、いろいろと教えていただき、ありがとうございました。

最後に余談になります。運動会の翌週、作業所行事で関空見学に行きました。その時の見学ツアー

ガイドさんが、運動会送迎バスのガイドさんと同じ方でした。そのため、わかばメンバーは、ガイドさんと運動会の話をし、きりんさん体操を踊って見せていました。

小さな偶然から生まれた再会でしたが、わかばメンバーにとりまして、貴重な体験でした。今後も、より多くの方々との出会いを大切に、わかばメンバーと共に歩いていきたいです。

